待機児童ゼロを目指して！

幼児教育支援政策について

議員
一昨年の水害の影響もあってか、人口減少傾向の中、現在の待機児童数を年齢別にお願いしたい。

保健福祉部長
当市における待機児童は、2月1日現在22人で、ゼロ歳児16人、1歳児は6人である。

議員
5歳児までと昨年度の同時期の待機児童数は。

こども課長
待機児童は今年度はゼロ、1歳児のみ。昨年2月1日では、23人。内訳はゼロ歳児13人、1歳児7人、2歳児3人である。

議員
市には5つの公立幼稚園、1つの私立幼稚園、6つの公立保育所、5つの民間保育所、そして1つの地域型保育施設がある。合計で21施設存在する。これだけの施設があるのに待機児童が発生する理由は。

こども課長
施設の整備以上に低年齢の幼児を預けたい家庭が定員以上の増加にあるということ。また、年度途中でゼロ歳児、1歳児の受入れ枠が不足しているのが原因である。

議員
保育士及び教諭不足により、受入れができない等も想定されるが、特に民間保育施設ではそのような現実があると聞いているが、市としては、どのように認識しているか。

こども課長
民間施設への毎月の給付費の支払いを通じて確認している。

議員
民間施設は、方針も異なるため、キャパ的に追いつかない施設もあれば、保育士数の問題もあるかと思う。

一般質問 JOSOSHIGIKAIDAYORIJOSOSHIGIKAIDAYORIJOSOSHIGIKAIDAYORIJOSOSHIGIKAIDAYORI 一般質問

大澤 清 議員

更なる自治体や企業への協力を望む

市長公約の実現に向けての取り組みについて

議員
市長の公約に掲げる優先順位で、地域防災組織をつくるとか、いろいろと市民からの要望もあったかと思うが、特に今回は、水海道有料道路の取り組みについて尋ねる。

都市建設部長
水海道有料道路は、現在無料で通行している午後10時から午前6時までの時間を、午前8時までの2時間延長するための予算措置をしている。6月1日からの実施予定であり、この取り組みを継続するには、近隣自治体の協力を得るためさらに協議を進めていく。

議員
朝の通勤時間帯で、豊岡周辺はとりわけ渋滞が激しく、裏道を飛ばす車が目立つ。朝の混雑緩和は、歴代の市長ができなかったことで、自分は喜んでいる。ほかの公約も含めて一言願う。

市長
公約の1丁目1番地は、市に戻りたくても戻れない被災者の方の生活再建、また自主防災組織結成の支援、防災士の育成、質問のあった水海道有料道路の一部時間帯の無料等、地域の経済効果、子どもたちの安心安全、命を守るという観点から優先順位をつけた。有料道路は、10年後に完全無料化になる。地域交通という観点からも継続あるものとして、市民の声も伺いながら判断する。

議員
予算があってのことになるが、有料道路もあと10年すると完全無料化になる。それまでどうするか。市町村だけでなく、民間企業等にもどんどん働きかけて、近隣市町村に足を運んでもらい、単独じゃなく、多くの人に理解を得られるような方向になるよう要望する。

新田 宏安 議員

掲載できなかった質問 ▶高齢者の生活支援について